

100年 先を読む

46

地域資本と 自然資本を駆使する 中小企業に期待

▶ 情報資本が軽視される日本

事業に必要な要素はカネ、モノ、ヒトとされている。古典的経済学の言葉では、財務資本、物的資本、人的資本ということになる。出資にしる借入にしる金銭がなければ事業は開始できない。建物や製造機械がなければ商品やサービスを提供できない。今後のロボットと人工知能の進歩により変化するかもしれないが、当面は必要な人材を確保することも必須である。とりわけ日本では労働人口が急速に減少すると予測されており、重要な資本になることは確実である。

しかし社会が変化し、新規の資本が登場してきた。第一は情報資本である。現在、世界の株式時価総額の上位はGAF(A)（グーグル（アルファベット）／アップル／フェイスブック（メタ）／アマゾン）であるが、その事業の源泉はグーグルは利用する人々の検索情報、フェイスブックは交信情報、アマゾンは購買情報である。アマゾンは事業開始以来の購買情報をすべて巨大データセンターに保管し利用しているが、日本の類似の企業は数年で廃棄し、情報資本を軽視している。

1990年代初期には世界の株式時価総額の上位20社のうち14社が日本企業であったが、現在では上位50社に登場する日本企業は1社でしかない。上場すれば10億ドル以上に評価される企業はユニコーンと命名され、世界に800社以上存在するが、アメリカの企業が36%、中国が16%であり、日本は11社しか登場しない。ユニコーンの大半は情報企業であるが、日本は資本の中心がカネ、モノ、ヒ

トから情報に移行した社会への参入に出遅れた結果である。

▶ 地域ならではの資本を 最大限に活用する

日本の中小企業にとって重要な資本も登場してきた。地域資本である。一例はクラフトビールの製造である。1994年に酒類の製造についての税法が改正され、年間の最低の製造酒量が2000キロリ



ットルから60キロリットルに緩和された結果、一気に醸造所数が増加し、現在、すべての都道府県に合計500以上が登場している。原料の大麦や小麦も地元の産品を使用し、特産の果物以外にかつおぶし 鰹節さえ原料の一部とする商品も登場している。

地域資本を最大に活用して成功したのは四国の山奥の徳島県上勝町かみかつに設立された「いろどり」である。料理に添付されている「つまもの」が市場で有料販売されていることに驚嘆した役場の職員が町内の山中にあるさまざまな木の葉を販売したところ年商2億数千万円の商売になったという成功物語で、テレビジョン番組や映画になるほどの話題になった。地域はこのような素材を供給するだけであったが、自身で事業にすることで山奥の過疎を進展させることに成功した。

▶ 自然環境がもたらす膨大な資本

最後は自然資本である。1990年代にエコロジカル・フットプリントという概念が登場した。社会は環境を足蹴にして発展しているという発想で、一人の人間が生活のため利用する自然環境の面積



を計算した数値である。その結果、大半の国々は自国の国土だけでは社会が維持できないことが判明した。日本では現状の維持のため1人あたり5ヘクタールの自然資本を使用しているが、自国には0.7ヘクタールしか存在せず、不足は他国の自然資本の輸入で補充している。

日本列島改造が全盛の時期くしろに釧路湿原全体を干拓して利用する構想が検討された。反対する人々の努力で国立公園に指定されて阻止されたが、旧来の資本の観点から湿原は価値のない存在であった。しかし、洪水防止、淡水供給、気候緩和、観光資源などの価値を計算すると、ヘクタールあたり年間150万円になるが、干拓した耕地は1万円ではないと計算された。地球全体の環境の行方が憂慮される現在、無用とされた湿原が膨大な資本になってきたのである。

カネ、モノ、ヒトが資本の社会では、それらを世界から取奪した巨大企業が全盛であった。そこへ情報資本が追加されGAF(A)が代表する地球規模の企業が隆盛となったが、その弊害は各国がGAF(A)の活動を規制していることが証明している。そこに登場したのが地域資本と自然資本を追加した社会である。隕石の衝突により巨大な恐竜が絶滅した以後の世界を構築したのは極小の哺乳動物であった。これから期待されるのは地域資本と自然資本を活用する中小企業である。



東京大学名誉教授
つきお よしお
月尾嘉男
Tsukio Yoshio

昭和17(1942)年生まれ。東京大学工学部卒業。工学博士。コンピュータ・グラフィックス、人工知能、仮想現実、メディア政策等を研究。全国各地でカヌーとクロスカントリースキーをしながら私塾を主宰し、地域の有志と共に環境保護や地域計画に取り組む。著書に『幸福感社会への転進』（モラロジー研究所）、『転換日本』（東京大学出版会）ほか多数。